

くすりのあしたを考える。



東和薬品

平成29年3月期 第2四半期決算補足説明資料

2016年11月

(証券コード: 4553)

まとめ

- ・ 売上高は、前年同期比3.5%増。販売数量増加により増収となった。近年の追補品の販売強化や主力品への注力によって薬価改定による薬価低下の影響を補いきれなかったこと、および販売数量が計画を下回ったことにより、計画に対して未達となった。
- ・ 売上原価率は、前年同期比4.7pt悪化。主力品の薬価の大幅な低下が主な要因。販売数量未達のため生産数量も調整を行った結果、計画に対して生産数量が減少したことも要因。
- ・ 販売管理費は、前年同期比13.7%増。開発品目増加に伴う研究開発費の増加、営業の要員増による人件費の増加の影響が大きい。
- ・ 営業利益は上記の結果、前年同期比57.9%減。
- ・ 経常利益段階において、前期末に比べ為替相場が大きく変動し、急激な円高となったため、原料代金の為替をヘッジする目的で実施しているデリバティブ取引の評価において23億7千4百万円の評価損が発生したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は8千5百万円となった。
- ・ 第2四半期の結果を考慮し、通期業績計画を修正した。

2017年3月期第2四半期決算概要

(単位:百万円, %)

期	17/3 2Q			16/3 2Q	
	金額	対売上高 比率	前年同期 比	金額	対売上高 比率
売上高	40,521	100.0	+ 3.5	39,162	100.0
売上原価	21,834	53.9	+ 13.4	19,251	49.2
販管費	16,363	40.4	+ 13.7	14,388	36.7
営業利益	2,323	5.7	- 57.9	5,522	14.1
経常利益	383	0.9	- 93.2	5,613	14.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	85	0.2	- 97.9	4,014	10.3

(為替レート) 2016/9 2016/6 2016/3 2015/9 2015/6 2015/3
1ドル 100.12円 101.91円 111.68円 118.96円 121.45円 119.17円

2017年3月期第2四半期決算概要(計画進捗率)

(単位:百万円, %)

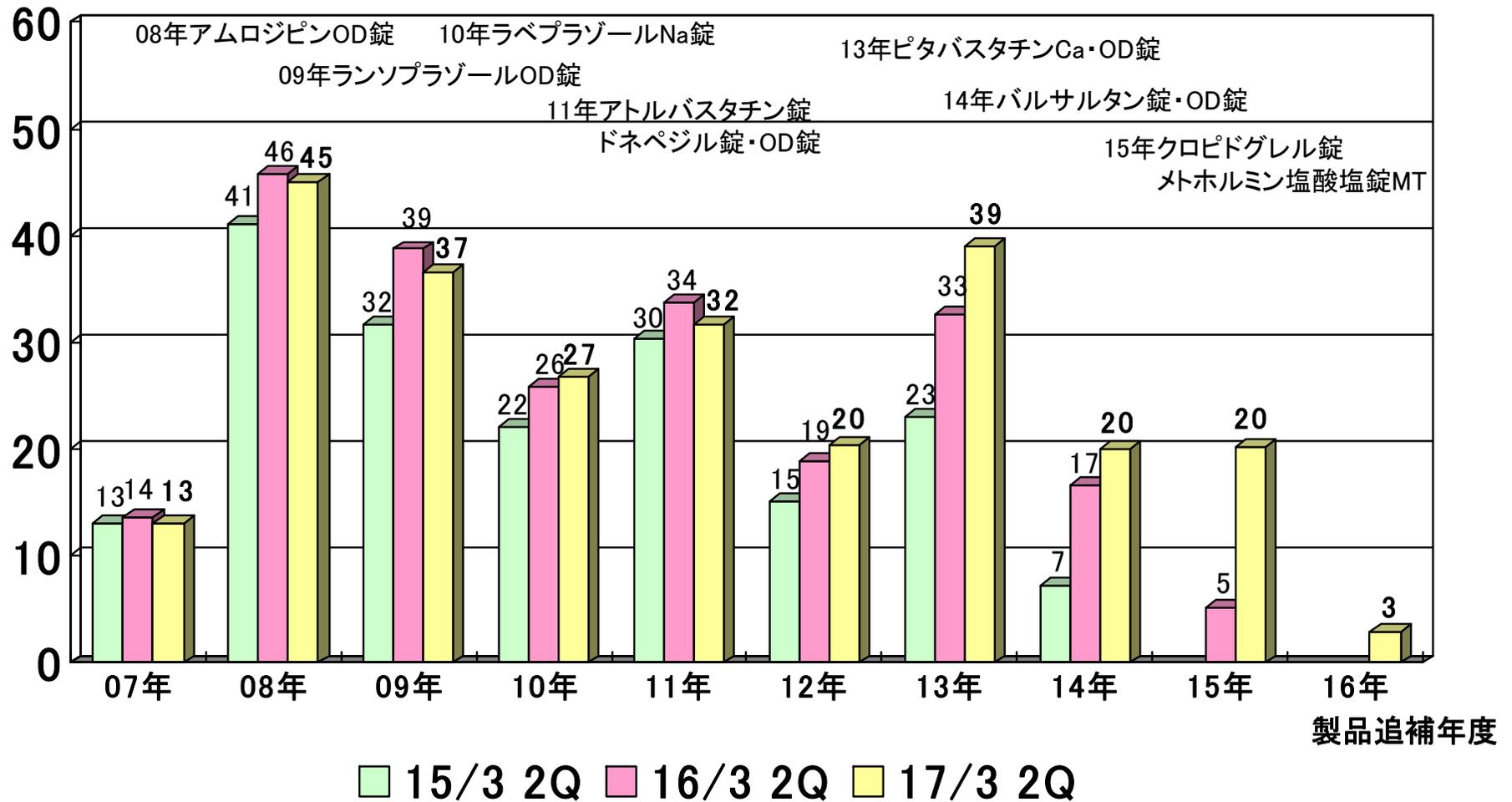
期	17/3							
	2Q実績		2Q計画			通期計画(5/13発表)		
項目	金額	売上高比率	金額	売上高比率	達成率	金額	売上高比率	進捗率
売上高	40,521	100.0	44,500	100.0	91.1	93,500	100.0	43.3
売上原価	21,834	53.9	22,900	51.5	95.3	48,200	51.6	45.3
販管費	16,363	40.4	17,500	39.3	93.5	34,800	37.2	47.0
営業利益	2,323	5.7	4,100	9.2	56.7	10,500	11.2	22.1
経常利益	383	0.9	4,030	9.1	9.5	10,350	11.1	3.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	85	0.2	2,965	6.7	2.9	7,450	8.0	1.1

追補年度別売上高推移

(単体)

薬価改定による影響が大きいものの、数量は着実に増加。
12年追補以降の売上は順調に伸長。

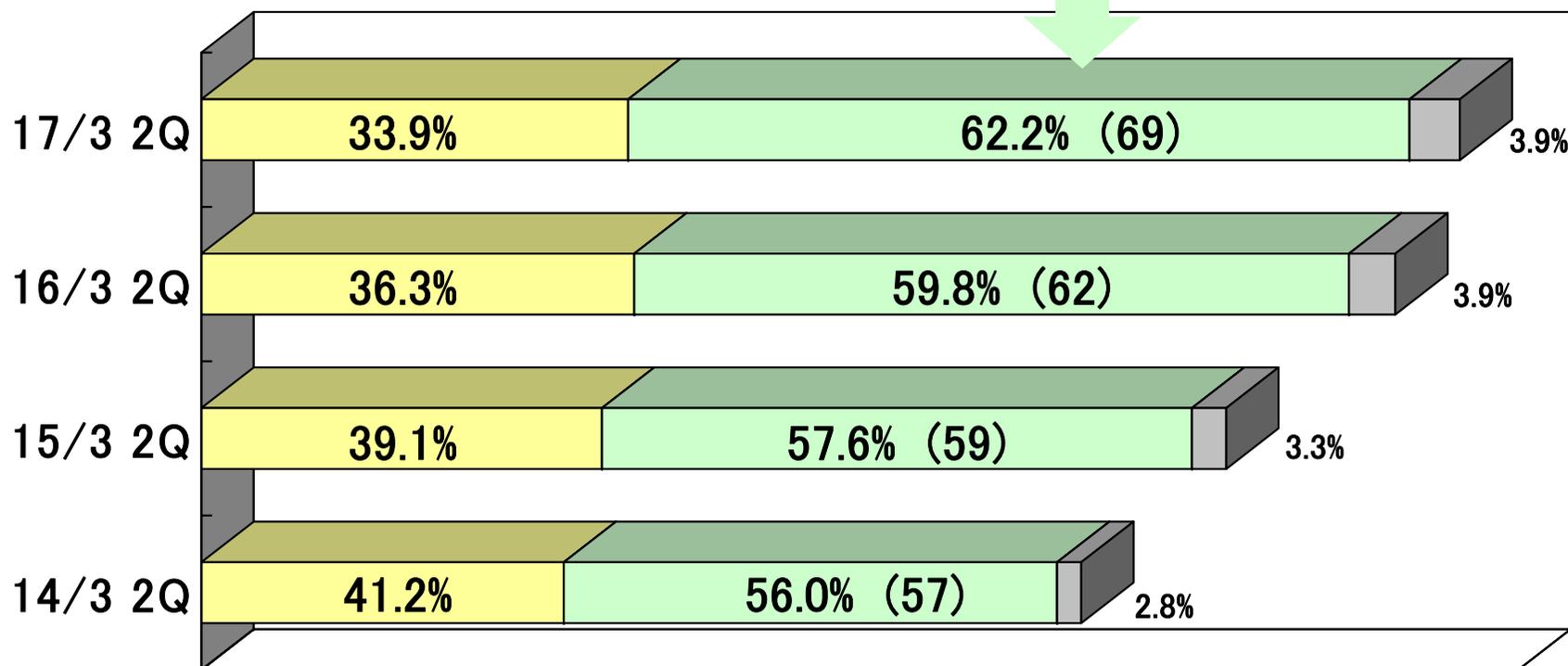
億円



売上高詳細(販路別)

(単体)

代理店の営業所化・営業所の新設、本社取引の拡大などにより、直販比率が増加。()は営業所数

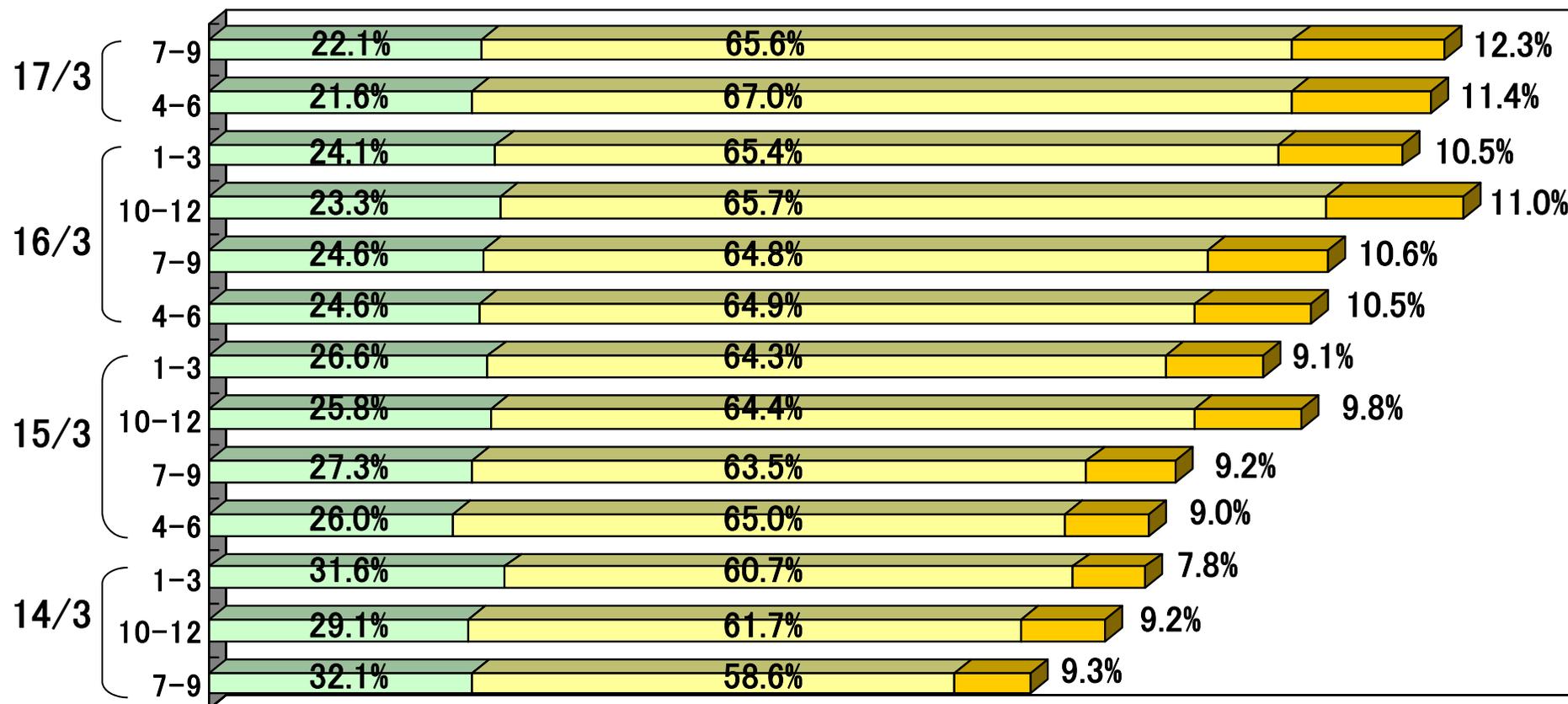


■ 代理店 ■ 営業所・本社 ■ その他(他社販売・受託・輸出)

売上高詳細(納入先別)

(単体)

保険薬局と病院の売上が順調に推移。



■ 診療所 ■ 保険薬局 ■ 病院

(他社販売等を除く。診療所+保険薬局+病院を100%としている。)

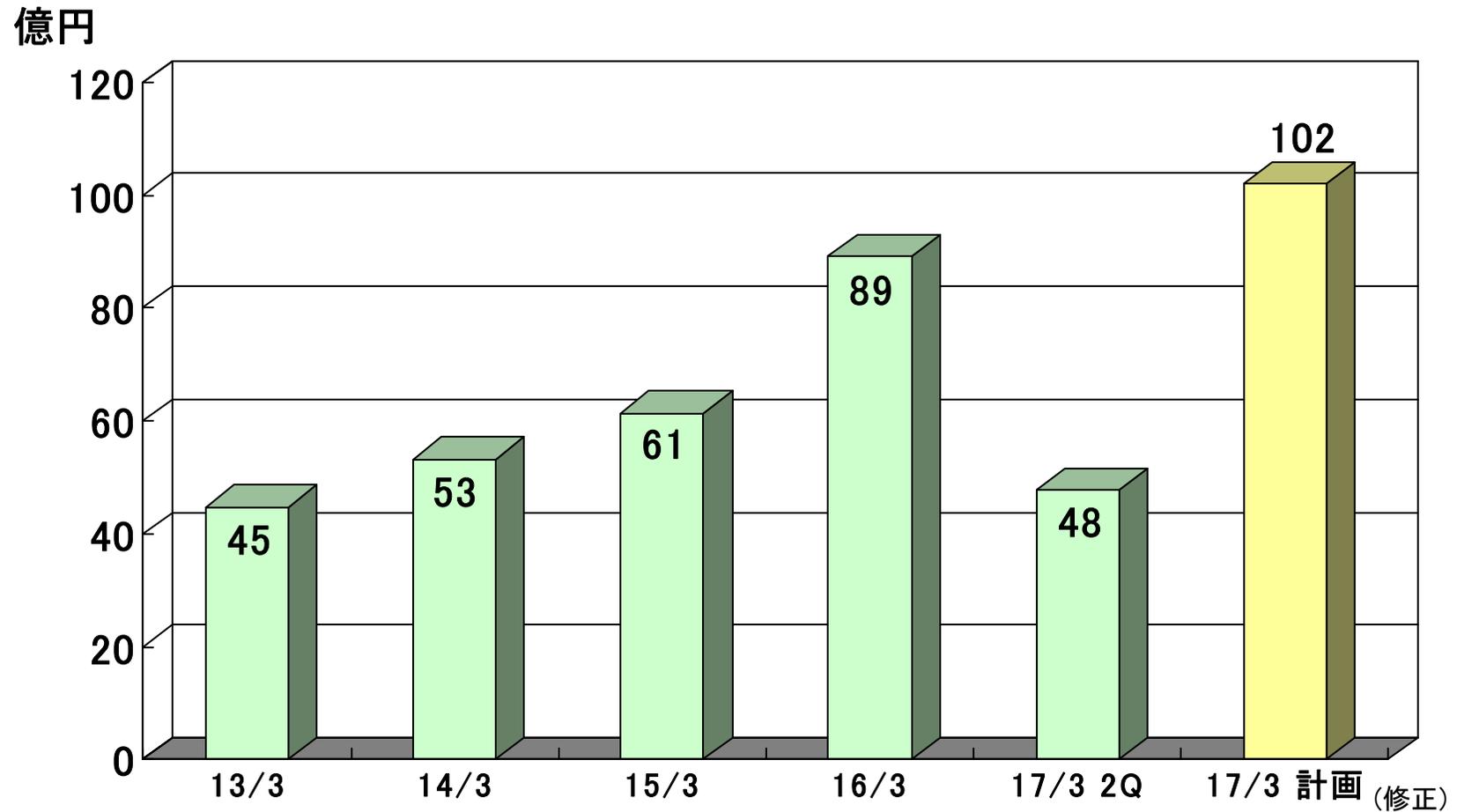
販売費及び一般管理費

(単位:百万円, %)

期	17/3 2Q			16/3 2Q	
	金額	対売上高 比率	前年同期 比	金額	対売上高 比率
人件費	6,695	16.5	+ 14.6	5,840	14.9
研究開発費	4,771	11.8	+ 28.1	3,726	9.5
荷造費	987	2.4	+ 34.7	733	1.9
減価償却費	513	1.3	+ 14.2	449	1.1
支払手数料	467	1.2	- 2.4	479	1.2
広告宣伝費	545	1.3	- 32.1	803	2.1
その他	2,381	5.9	+ 1.1	2,356	6.0
販管費	16,363	40.4	+ 13.7	14,388	36.7

販売管理費は、前年同期比13.7%増。開発品目増加に伴う研究開発費の増加、営業の要員増による人件費の増加の影響が大きい。

研究開発費



通期業績計画の修正に伴い、研究開発費の計画を105億円から102億円へ修正した。

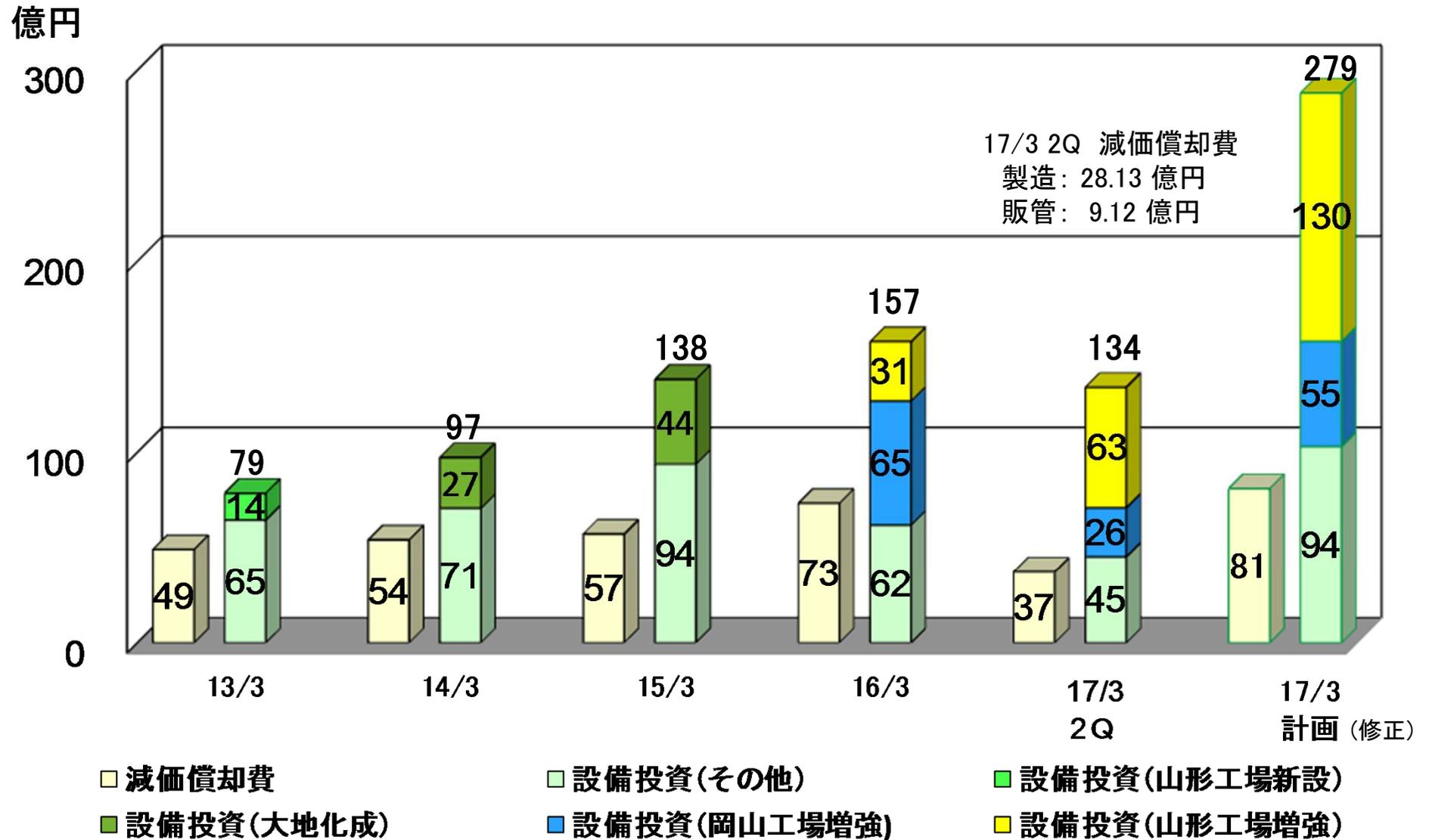
貸借対照表

(百万円)

項目	16/9	16/3	増減
現金及び預金	19,707	20,526	-818
受取手形 及び売掛金	24,046	25,802	-1,756
有価証券	4,000	5,000	-1,000
商品及び製品	22,897	21,039	+ 1,857
その他流動資産	20,495	22,763	- 2,268
流動資産計	91,146	95,132	- 3,985
建物及び構築物	30,231	24,170	+ 6,060
機械装置及び運搬具	14,725	14,618	+ 107
建設仮勘定	11,267	8,146	+ 3,120
その他固定資産	15,171	14,783	+ 387
固定資産計	71,395	61,719	+ 9,676
資産合計	162,542	156,851	+ 5,690

項目	16/9	16/3	増減
支払手形 及び買掛金	15,231	14,136	+ 1,095
1年内返済予定の 長期借入金	2,404	2,033	+ 370
未払法人税等	288	258	+ 30
その他流動負債	17,808	14,833	+ 2,975
流動負債計	35,733	31,262	+ 4,471
長期借入金	40,161	38,435	+ 1,726
新株予約権付社債	15,062	15,067	-5
その他固定負債	1,529	1,481	+ 47
固定負債計	56,753	54,984	+ 1,769
負債合計	92,487	86,246	+ 6,240
純資産合計	70,055	70,605	-549
負債・純資産合計	162,542	156,851	+ 5,690

設備投資・減価償却費



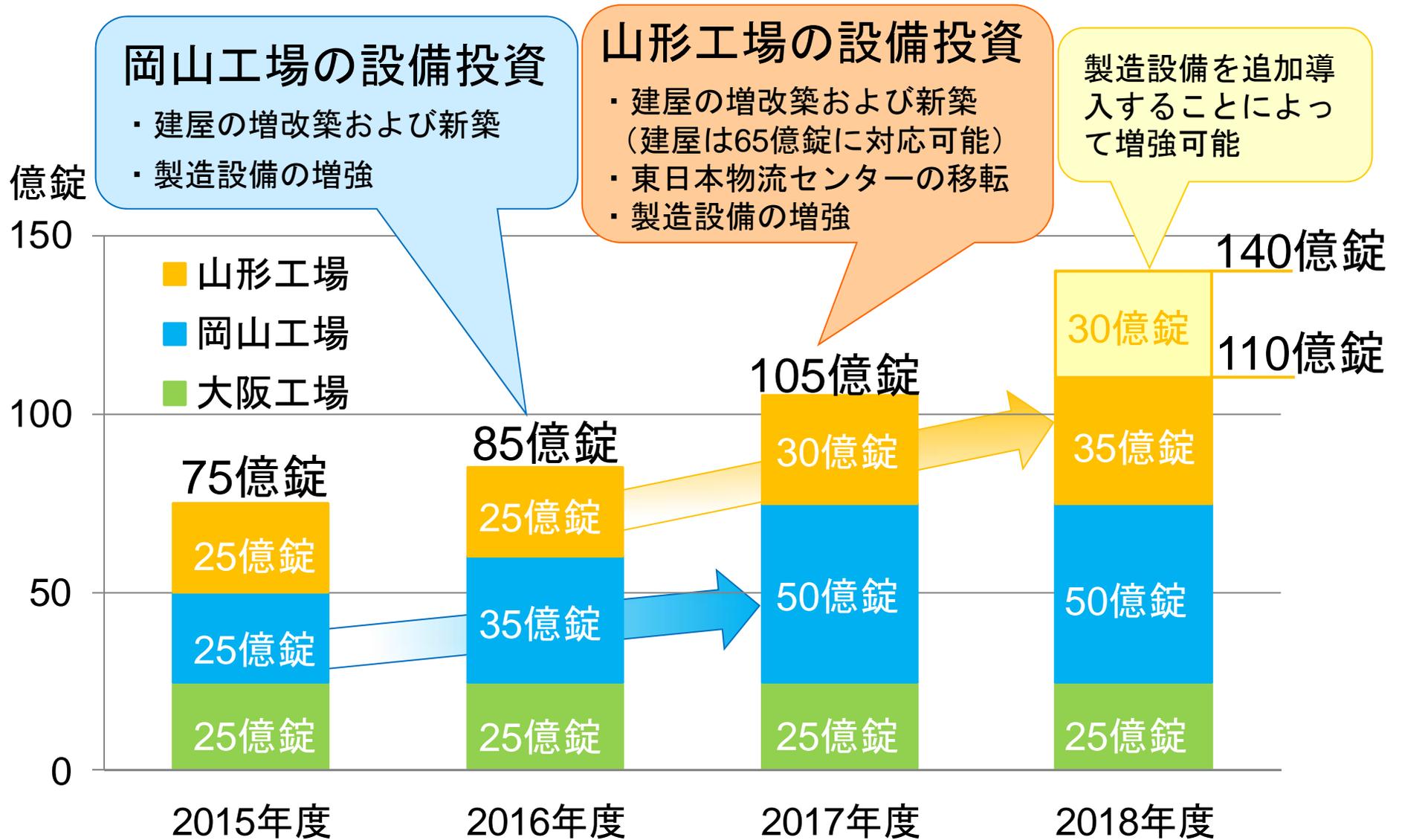
主な設備投資及び減価償却費の修正計画

期	16/3 実績	17/3 計画		18/3 計画		3期合計
項目	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前期比 (%)	金額 (百万円)	前期比 (%)	金額 (百万円)
設備投資	15,792	36,300	+ 129.9	27,300	- 24.8	79,392
設備投資(修正)		27,900	+ 76.7	18,900	- 34.4	62,592
岡山工場	6,499	7,000	+ 7.7	1,000	- 85.7	14,499
岡山工場(修正)		5,500	- 15.4	2,500	- 54.5	14,499
山形工場	3,106	20,200	+ 550.4	23,600	+ 16.8	46,906
山形工場(修正)		13,000	+ 318.5	12,300	- 5.4	28,406
大阪工場	728	900	+ 23.6	1,100	+ 22.2	2,728
大阪工場(修正)		700	- 3.8	500	- 28.6	1,928
東日本物流センター	744	2,400	+ 222.6	0	-	3,144
東日本物流センター (修正)		3,200	+ 330.1	30	- 99.1	3,974
その他	4,715	5,600	+ 18.8	1,400	- 75.0	11,715
その他(修正)		5,300	+12.4	3,400	- 35.8	13,415
減価償却費	7,329	9,080	+ 23.9	11,410	+ 25.7	27,819
減価償却費(修正)		8,100	+ 10.5	9,070	+ 12.0	24,499

主な変更点

- ・一部新棟建設
先送り(約60億円)
- ・製造設備投資
先送り(約125億円)

東和薬品の生産能力増強



2017年3月期 通期業績計画の修正

(単位:百万円, %)

期	17/3 修正計画 (10月28日発表)				17/3 計画 (5月13日発表)	
	金額	対売上高 比率	前期比	期初計画 比	金額	対売上高 比率
売上高	88,400	100.0	+ 7.7	- 5.5	93,500	100.0
売上原価	47,500	53.7	+ 18.0	- 1.5	48,200	51.6
販管費	33,700	38.1	+ 9.7	- 3.2	34,800	37.2
営業利益	7,200	8.1	- 35.3	- 31.4	10,500	11.2
経常利益	5,100	5.8	- 49.8	- 50.7	10,350	11.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,600	4.1	- 53.2	- 51.7	7,450	8.0

売上高:上期の結果を考慮し、計画を修正。下期については主力品販売の強化を行う。

売上原価:主力品の薬価低下や生産調整による生産数量減少により計画を修正。

販売管理費:コスト低減により計画修正。人件費は13,600百万円、研究開発費は10,200百万円。

経常利益:為替相場の先行きは不明なため、2Q時点のデリバティブ評価損(2,374百万円)を見込みとしている。

2017年3月期 通期業績計画の修正(計画進捗率)

(単位:百万円, %)

期	17/3				
	上期実績		通期修正計画(10/28発表)		
項目	金額	売上高 比率	金額	売上高 比率	進捗率
売上高	40,521	100.0	88,400	100.0	45.8
売上原価	21,834	53.9	47,500	53.7	46.0
販管費	16,363	40.4	33,700	38.1	48.6
営業利益	2,323	5.7	7,200	8.1	32.3
経常利益	383	0.9	5,100	5.8	7.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	85	0.2	3,600	4.1	2.4

2016年12月追補収載予定新製品

薬効分類名	販売名	先発医薬品名 (会社名)	2015年度 売上(億円)
ロイコトリエン受容体拮抗薬 アレルギー性鼻炎治療薬	モンテルカスト錠5mg/10mg 「トーワ」	キプレス錠5mg/10mg(杏林) シングレア錠5mg/10mg(MSD)	667
骨粗鬆症治療剤	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg 「トーワ」	エビスタ錠60mg (日本イーライリリー)	197
二次性副甲状腺機能亢進症治療剤	マキサカルシトール静注透析用 2.5 μ g/5 μ g/10 μ g「トーワ」	オキサロール注 2.5 μ g/5 μ g/10 μ g(中外製薬)	160
前立腺癌治療剤	ビカルタミドOD錠80mg「トーワ」	カソデックスOD錠80mg (アストラゼネカ)	103
選択的セロトニン再取り込み阻害剤	セルトラリン錠100mg「トーワ」	ジェイゾロフト錠100mg (ファイザー)	6
	セルトラリンOD錠 100mg「トーワ」	ジェイゾロフトOD錠100mg (ファイザー)	1

12月追補品合計で初年度売上約3億円

モンテルカスト

約1.7億円

ラロキシフェン

約0.5億円

など、7成分 13品目を上市予定

を計画しております。

<お問い合わせ先>

東和薬品株式会社 広報・IR室

ir@towayakuhin.co.jp

TEL : 06-6900-9102

FAX : 06-6908-6060

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。